

閉店前のスーパーはいつも人ざかり。自分の趣味や家族との団らんを楽しむ時間なのに……。人間らしい生活が奪われていると感じてしまう。



坂口賢洋
(滋賀障害者・患者9条の会)

映画「永遠の〇」に出てくる鹿屋航空基地から、戦時に多くの若者が飛び立って逝った。私の父は、そこで特攻訓練をしていてゼロ戦に搭乗する予定でした。玉音放送があと5日遅ければ、私は生まれてきていなかっただろう。今でも戦闘機を見るとき身震いします。



池田光
(森永ヒ素ミルク中毒被害者)

戦車も戦闘機もミサイルも要りません！ 平和で穏やかな世界にしていきましょう。



安島弘祐
(埼玉障害者9条の会)

平和憲法のすばらしさを、多くの方たちに訴えていきましょう。そしてその指針となる考え方を未来に繋いでいきましょう。



服部もも
(通信大学生)

政治をよく知らない人でも、誰もが思ってるのこと。
「戦争はいやだ」
この声を形にしたい。
改憲反対！

特 集

平和へのねがい

平和をめぐって世界が揺れる今、日本では平和憲法を変え軍備を拡大しようとする動きが強められています。

私たちは、どんな社会に生きたいのでしょうか。平和な社会なしに障害のある人の権利が保障されることはありません。そんな社会ではすべての人のしあわせな暮らしは成り立ちません。

戦争のない社会をつくるための対話を広げ、一人ひとりのねがいから平和への思いをつなぐためにできることを考え合いたいと思います。

スターダンでも殺し合いが…。地球破壊を食い止めねば。私たちは非暴力と英知によって解決する必要がある。



太田修平
(障害連／障害者・患者9条の会世話人)

軍事費倍増、暮らし破壊に暴走する岸田政権NO！ 戦争に役立たないとごくつぶし非国民と差別された過去を繰り返さないため権利を守れ、平和を守れの声をみんなあげよう！



玉木八重子
(和歌山障害者・患者9条の会)

「障害者・患者9条の会」のホームページではここに登場している方をはじめ、さまざまな方たちの「平和へのメッセージ」を公開しています。ぜひご覧ください。

